

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	伊予市内遺跡発掘調査等事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 5 項 1 目	事業番号	4703	所属長名	岡市裕二
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	北岡康平	
法令根拠等	文化財保護法、伊予市文化財保護条例				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造 個性豊かな文化の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	個性豊かな文化の振興						
事業の対象	伊予市内			事業の目的	市内の埋蔵文化財包蔵地を適切に把握し、開発事業において、事業者等とのスムーズな調整を図るとともに、埋蔵文化財を市民に周知する。		
事業の内容(整備内容)	埋蔵文化財の保存調査に係る経費補助			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
直接事業費	2,253	2,916	0	0	0	2,472	発掘試堀箇所数	箇所	1	5	2	3
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	包蔵地周辺工事立会数	回	9	5	1	2
一般財源	2,253	2,916	0	0	0	2,472						
職員の人工(にんく)数	1.50	0.30				0.30						
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794						
※ 直接事業費+人件費	14,015	5,254				4,810						
主な実施主体	直接実施 (臨時職員1人を含む。)		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		賃金、報償費、委託 (掘削作業委託)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	5年間の合計		
					3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	16,000		
成果指標	指標	設定しない	単位	⇒	区分年度	前年度	4年度	5年度	目標	毎年度		
	指標設定の考え方	定量的な指標では成果を表現できないため	なし		目標	-	-	-	-			
	指標で表せない効果	なし	実績		-	-	-	-				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		特になし										
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	昨年度に引き続き、愛媛大学との協働により、市場南組窠跡の発掘調査を行った。広く周知啓発を図り、公民館と連携した講座の企画や、SNSを活用した周知啓発を行った。				
			5 社会情勢等へのニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 2 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4								
			5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	5								
		有効性	5 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の苦勞した点・課題	特になし
			5 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 4 3 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	3								
			5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。 3 2 1 施策推進につながっていない。	3								
	効率性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 3 2 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 貴重な遺跡の発掘調査は、積極的に取り組む必要がある。					
		5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 3 2 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3									
		5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 3 2 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3									
	一次判定 (所属長)	妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 貴重な遺跡の発掘調査は、積極的に取り組む必要がある。				
			5 社会情勢等へのニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 2 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4								
			5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	4								
有効性		5 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					B	所屬長の課題認識	関係者と連絡を密に行い実施するとともに、市民への周知も積極的に行う必要がある。	
		5 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 4 3 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	3									
		5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。 3 2 1 施策推進につながっていない。	3									
効率性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 3 2 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	所屬長の課題認識	関係者と連絡を密に行い実施するとともに、市民への周知も積極的に行う必要がある。						
	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 3 2 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3										
	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 3 2 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3										

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>			